

津山工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	選択英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0042			科目区分	一般 / 選択		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	学修単位: 2		
開設学科	機械工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	教科書：ACTIVATOR (金星堂). 参考書：辞書（電子辞書可）, 教科書の音声.						
担当教員	住田 光子						
到達目標							
学習目的：4技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。							
到達目標： 1：英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を持ち，具体的情報や考えなどを理解したり伝えたりできる。 2：本文の英語の語彙・文法に関する豊富な知識を有する。 3：本文の英文内容や会話シーンの状況を日本語で説明することができる。 4：ペアワークやプレゼンテーションにおいて口頭で自分の考えを伝えることができる。 ◎：日本語と特定の言語を用いて相手の意見を聞くことができ，効果的な説明方法や手段を用いて，自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができる。							
ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目1	ペアワークにおいて口頭で自分の考えを伝えることが十分にできる。		ペアワークにおいて口頭で自分の考えを伝えることがおおむねできる。		ペアワークにおいて口頭で自分の考えを伝えることが最低限はできる。		ペアワークにおいて口頭で自分の考えを伝えることができない。
評価項目2	本文の英語の語彙・文法に関する深い知識がある。		本文の英語の語彙・文法に関するおおよその知識がある。		本文の英語の語彙・文法に関する最低限の知識がある。		本文の英語の語彙・文法に関する知識が乏しい。
評価項目3	ディクテーションを通して，英語を聴き取り，綴ることが十分にできる。		ディクテーションを通して，英語を聴き取り，綴ることがおおむねできる。		ディクテーションを通して，英語を聴き取り，綴ることが最低限はできる。		ディクテーションを通して，英語を聴き取り，綴ることができない。
評価項目4	異文化理解に関して，自分の考えを適切な英語でまとめることが十分にできる。		異文化理解に関して，自分の考えを適切な英語でまとめることがおおよそできる。		異文化理解に関して，自分の考えを適切な英語でまとめることが最低限できる。		異文化理解に関して，自分の考えを適切な英語でまとめることができない。
評価項目5	自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが十分にできる。		自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることがおおよそできる。		自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることが最低限できる。		自分の意見を伝え円滑なコミュニケーションを図ることができない。
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：外国語 必修・履修・履修選択・選択の別：履修選択 基礎となる学問分野：英語・英米文学／言語学・音声学 学科学習目標との関連：本科目は一般科目学習目標「（5）国際性に富んだ人材を育成するための幅広い教養を身につける」に相当する科目である。 技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育到達目標は「（F）コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，F-3：技術者に必須の外国語である英語でコミュニケーションができること」である。 授業の概要：日常生活のなかで，日本人の英語学習者がつかう短いフレーズを素材としたテキストを使用して，テキストに沿って進める。						
授業の進め方・方法	授業の進め方：テキストに沿って授業を進める。授業時間外の学習がある。本科目は後期開講科目である。 授業の内容・方法： 海外で生活する時，少しでも多くのやさしいフレーズを使って，円滑に意思疎通を行うことができるように，おもにペアでの口頭練習を中心に，会話を学んでいく。 成績評価方法：2回の定期試験の結果を平均して評価する（50％）。定期試験の結果に加え，グループ課題，小テストなど（50％）として，総合して成績評価をおこなう。試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。場合によっては再試験を実施する。						
注意点	履修上の注意：本科目は「授業時間外の学習を必修とする科目」である。1単位あたり授業時間として15単位時間開講するが，これ以外に30単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 履修のアドバイス：自宅課題・予習・復習を指示するので必ず取り組むこと。 基礎科目：英語I（1年），英語演習I（1），英語II（2），英語演習II（2），英語III（3） 関連科目：英語IV（4），選択英語I（4），選択英語II（5） 受講上のアドバイス：積極的に授業に参加し，受講生同士で英語を使って話すこと。教科書・英和辞書を持参し，予習や課題を取り組んだうえで授業に臨むこと。小テストは適宜おこなうので，必ず参加すること。授業開始後の入室は，授業の妨げになるので慎むこと。60分以上の遅刻は欠課扱いとする。 受講上の注意：テキストわずか，私語，PCで他の作業をする学生に対しては，きびしく減点する。ペアワークは大声でにぎやかにやって構わないが，授業に関係ない活動は慎むこと。						
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
後期	3rdQ	1週	オリエンテーション，教科書の使い方，〔Unit 2〕：May I Speak to Yukiko?			授業の形式・進度，教科書の使い方，予習・復習のしかた，小テスト，受講上の留意点について把握する。	
		2週	〔Unit 2〕：May I Speak to Yukiko?			電話での話し方や予約の仕方を理解する。	

		3週	〔Unit 3〕：I Beg Your Pardon?	ききとれない場合のたずねかたを理解する。
		4週	〔Unit 4〕：Just Looking. Thank You.	買い物での注文の仕方を理解する。
		5週	〔Group Activity 1〕： Making a Dialogue Together.	ペアでショート・ダイアログをつくり, 口頭練習する。
		6週	〔Group Activity 2〕： Making a Dialogue Together.	できあがった会話を実演し, 録音することによって達成度を確認する。
		7週	中間試験前の準備	中間試験の範囲を復習する。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	中間試験返却と解説, 〔Unit 5〕： How Was Your Weekend?	試験の間違いなどを確認する。週末にしたことや出来事をたずねる言い方を理解する。
		10週	〔Unit 5〕： How Was Your Weekend?	週末にしたことや出来事をたずねる言い方を理解する。
		11週	〔Unit 6〕： Which Way?	通りで, 目的地までの行き方をたずねる言い方を理解する。
		12週	〔Unit 7〕： Your're My Best Friend	相手に評価を伝える言い方を理解する。
		13週	〔Group Activity 1〕： Making a Dialogue Together.	ペアでショート・ダイアログをつくり, 口頭練習する。
		14週	〔Group Activity 2〕： Making a Dialogue Together.	できあがったダイアログを実演し, 録音することによって達成度を確認する。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の答案返却と解説 / まとめ	試験での間違いなどを確認する。本科目の振り返りをする。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	課題	小テスト	合計	
総合評価割合	50	0	0	0	25	25	100	
基礎的能力	45	0	0	0	20	20	85	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	5	0	0	0	5	5	15	